

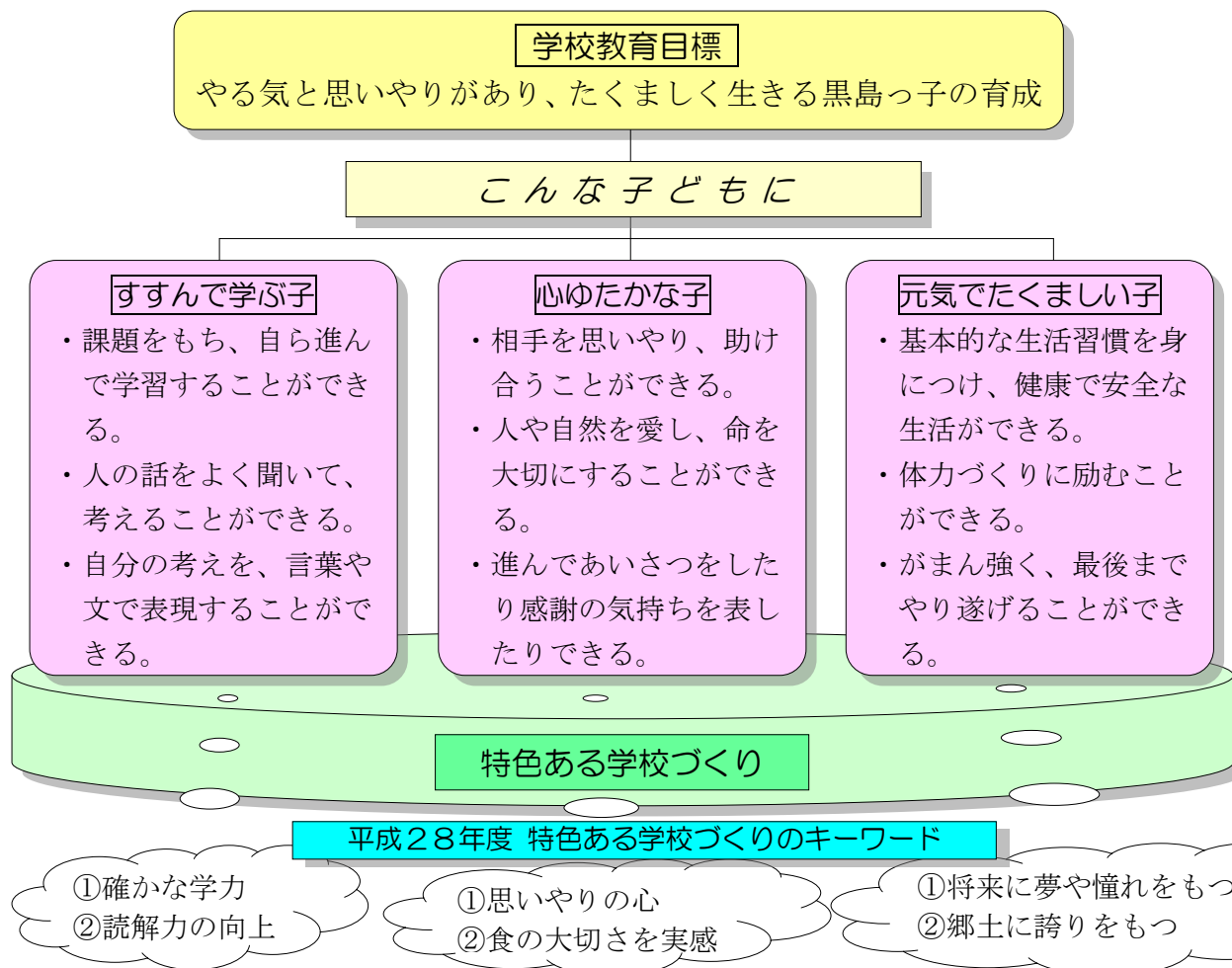


佐世保市立黒島小学校

佐世保市黒島町3184番地
校長 月川 英昭
児童数 10名 学級数 3学級
(平成28年5月1日現在)

1 目的

学校教育目標 「やる気と思いやりがありたくましく生きる黒島っ子の育成」に基づいた、本校のめざす児童像「**すすんで学ぶ子 心ゆたかな子 元気でたくましい子**」の具現化のため、特色ある学校づくりを推進します。



特色ある教育活動を具現化する際、めざす3つの児童像に基づき、児童や学校の実態、地域性などに加え、併設校としての在り方を考えました。

郷土黒島に誇りを持ち、たくましく生きる黒島っ子の育成をめざしています。

2 実践内容

(1) すすんで学ぶ子

① 確かな学力を身に付けた子どもを育む

〔校内研修〕

全国学力・学習状況調査や県学力調査、市学力調査等の各種学力調査を検証軸としたPDC Aサイクルを確立し、校内研修の充実を図っています。

職員は早期に結果の分析を行うことで、なぜこの問題が解けなかったのか、指導にどのような手立てが必要なのかを意識して指導に当たりました。

また、研究授業は小中合同で行う機会を設け、小中職員が合同で研究協議を行い、研修の効果を高めています。



<研究授業>



<はげみ学習>

〔はげみ学習・すくすくタイム〕

算数の基礎的・基本的な力の定着を図るための時間として朝の活動に「はげみ学習」を設定しています。今年度は特に、学力調査の個別結果に応じた課題や県センター活用教材に積極的に取り組みました。

また、国語の基礎的な力を高めたり表現力を磨いたりする場として「すくすくタイム」を設定しています。ここでは国語の問題のほか、詩の朗読や暗唱に挑戦させています。朗読・暗唱は学校公開の折に発表しました。

② 読解力の向上を目指して

〔読書の質の向上〕

学力向上へ取り組む中で、語彙力を高めることや多様な表現に親しむことの必要性を感じ、読書の質の向上に力を入れました。図書集会は、児童が、互いに自分の読んだ本の紹介をし合う会です。確かな読みに加え、相手に伝える表現の力も求められます。異学年グループで行う交流会は価値ある取組になりました。

また、国語学習とリンクした読書を行うことで、学習効果を高めるよう努めています。



<図書集会>

(2) 心ゆたかな子

① 思いやりの心を持った子どもを育む



<相西小全校朝会に参加>

〔大規模校訪問〕

全校児童で相浦西小学校を訪問しました。到着してすぐに参加した全校朝会では約 600 名の西小児童を前に圧倒されている様子でしたが、各学級に入れていただいてからは徐々に慣れ、友達もたくさんつくることができました。

授業、給食、休み時間など普段自分たちが過ごしている黒島小学校とは異なる大人数の学校生活を目の当たりにすることで、驚きと共に多くの人との関わり方について考える大変よい機会になりました。

〔グループホーム訪問〕

1～4年生でグループホームを訪問しました。生活科や総合的な学習の時間で黒島について学んだことを発表したり、昔遊び交流を行ったりしました。

昔遊び交流では、お手玉やおはじきなどを一緒にして遊び、とても喜んでもらいました。この交流をとおして、様々な人に思いやりを持って接していくことの大切さを学ぶことができました。



<グループホーム訪問>

② 自然や命、「食」の大切さを実感する子どもを育む



<黒島豆腐作り>

〔黒島豆腐作り〕

黒島豆腐は、にがりの代わりに、黒島の海水を入れて作り、普通の豆腐より塩味と重みのある、地元ならではの豆腐です。

学校農園に大豆の苗を植えて自分たちで育て、収穫しました。収穫した大豆を使って、小・中学生一緒に黒島豆腐を作りました。大豆の苗植えと黒島豆腐作り際には、地域の方にゲストティーチャーとして来校いただき、指導していただきました。黒島豆腐ができた後は、一緒に食べました。一連の学びの中で、地域の食への関心を高めたり地域や保護者の方へ感謝の気持ちをもったりすることができました。

(3) 元気でたくましい子

① 将来に夢やあこがれをもつ子を育む

〔長崎短期大学訪問〕

3・4年生が長崎短期大学を訪問し、大勢の大学生の前で、総合的な学習の時間を使って調べたり考えたりしてきた「知ろう 考えよう いろいろな人たちの思い」について発表しました。

福祉について学んでいる大学生に自分たちのこれまでの学びの成果を伝えると共に、疑問に思ったことやさらに知りたいことについて、学生から助言をいただきました。

緊張しながらもプレゼンをやり遂げた子どもたちは、いただいた意見を取り入れて、自分たちの考えを具現化しようと意欲を高めていました。



<長崎短大でプレゼン>

② 郷土のよさを感じ取る子どもを育む



<漁業体験>

〔漁業体験〕

1・3・4年生が、漁業体験を行いました。保護者の方が漁師であったり、日頃から釣りをしたりしている子どももいるのですが、ここでは実際に漁業について調べ学習を行い、漁師さんの仕事について改めてそのやり甲斐やご苦労などのお話を伺いました。

黒島の基幹産業ともいえる漁業について、よさや大変さを知ることができ、職業としての漁師を感じ取ることができ、機会になりました。

〔梯水産・道の駅させぼくす99訪問〕

5・6年生が梯水産を訪問しました。黒島の魚がどのような流通経路をたどって食卓まで運ばれるのか、魚などがどのように加工されるのかなどを学習しました。地元で採れた魚について詳しく知ることによって地元の良さを改めて感じることができました。

その後、道の駅させぼくす99では、総合的な学習の時間に自分たちで考えた黒島を活性化させるためのプランを発表して、感想や意見をいただき、黒島の未来について考えることができました。



<梯水産見学>



<させぼくす99交流>